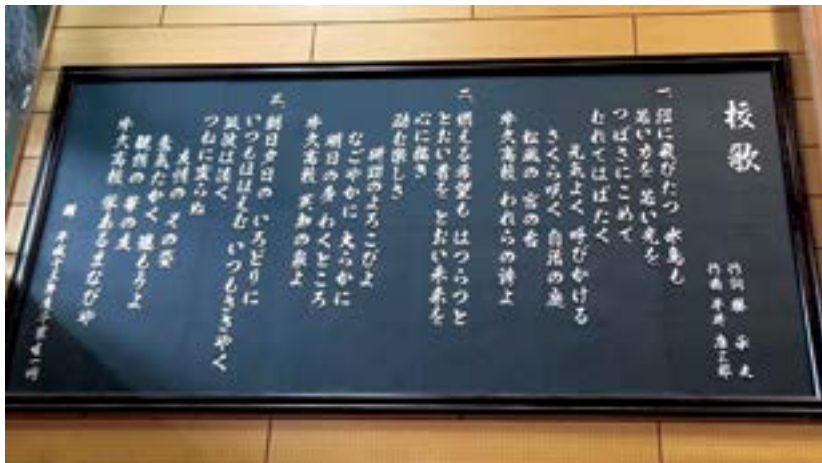


東洋大学附属牛久中学校・高等学校 同窓会報

TOYO UNIVERSITY USHIKU
JUNIOR HIGH SCHOOL・SENIOR HIGH SCHOOL REUNION NEWS



現在「牛久高校」の部分が「東洋牛久」と歌われています

CONTENTS

会長・校長あいさつ 2

同窓会会則・活動・卒業生数 3

同窓会役員・決算・予算 4

同窓会クラブ活動祝金、功労賞、奨励賞
..... 5

東洋大牛久は今 6・7・8

2019年10月 校舎前のグラウンドが全面人工芝になりました



この郵便物の扱いについて ご家族の方へのお願いです

卒業生の住所は多くが実家の住所になっています。実家を離れている場合が多いと思われませんが、大変恐縮ですが卒業生本人に、この郵便物をお渡しいただきたくお願いいたします。

卒業生へ住所変更のお願い

学校や同窓会からの郵便が届かない。住所が実家になっており、卒業後、住所変更を届けていない。東洋大学附属牛久高校ホームページから「卒業生の方」→「住所変更等」を選択→「住所変更等登録フォーム」から住所変更登録ができます。住所の変更をお願いいたします。

同窓会会報第5号の発刊にあたり 同窓会会長 川口 勝嘉

東洋大学附属牛久高等学校卒業生の皆様には、ますますご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会報第3号を2017年に発行してから、3年連続で会報を発行することができました。同窓生の皆さんに対して、学校の情報等をお知らせすることが同窓会としての重要な役目であると判断し、今年度も会報は発行することにしました。高校創立50周年の年度から5年間開催してまいりました「ホームカミングデー」令和元年度は開催をお休みさせていただきました。

予算上の関係もあり、当面、2年に1回の開催とさせていただきますので令和2年度には開催の予定です。改めましてご案内いたしますがその際はぜひ多くの卒業生に参加をお願いいたします。

本校の卒業生数は、2020年3月の第54回卒業生で、27,794名となりました。毎年、500名強の卒業生を輩出しており、茨城・千葉に限らず全国で活躍しています。

卒業生には卒業時に会費をいただき、全員に同窓会員となっただいただいています。卒業生数は約27,800名と大きな組織となり、会報の発行や総会の通知等を行うための郵送料の負担が、支出の大きな割合を占めることとなります。これは全国の高校同窓会の共通する悩みです。会報の発行や総会の開催、学校・生徒への支援は、同窓会として最低限実施しなければならない事ですので、皆さんのご支援・ご協力を頂きながら、同窓会の活動を進めてまいります。

2019年は茨城県で国体が開催され、いよいよ2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。私自身はオリンピックを二度も見られる幸せ者ですが、本校の卒業生である野口啓代さんがオリンピック「スポーツライミング」の代表選手に選ばれました。メダルも期待されていますが、この大会を最後に第一線は退くとのこと。10数年世界のトップに君臨し、東京がなければ、ここまで頑張れなかったとも伺いました。これもご縁ですのでぜひ応援をお願いします。後述の通り、本校生徒も国体個人優勝や入賞、県大会初優勝等活躍しています。硬式野球の試合では卒業生の姿を見かけますが、是非その他の部の試合や文化部の発表会、創造祭(文化祭)の応援も宜しく願いいたします。

東洋大学附属牛久高校も創立56年目をむかえ、100年に向けて改革が進められ、その成果が現れてきています。母校のさらなる充実発展と卒業生の皆様のますますのご多幸とご活躍を祈念しご挨拶といたします。



ごあいさつ

校長 遠藤 隆二

寒さが和らぎ、花芽膨らむ頃となりました。東洋大学附属牛久中学校・高等学校同窓会会員の皆様、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。いつも本校の教育にご理解とご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

平成24年4月に着任して以来、本校教育の改革・改善と環境整備に力を入れ、「特色ある学校づくり」に全力を投入してきました。旧1号館は南館・北館の新校舎となり、グラウンドは人工芝に生まれ変わり、生徒たちの学習環境は見違えるようになりました。平成27年4月に開校した中学校は5年目となり、第1期生は現在、高校2年生で中高一貫生としての存在感を示し始めています。また、外務省や文部科学省、茨城県等との連携・協力により始めたグローバル教育は様々な面での成果が見られ、「グローバルの東洋」と多方面から評価されるようになりました。グローバルコースも定着し、本校の看板になりつつあります。本校のより一層の充実発展を期し、現在、次のような計画を立て、その取組を始めています。

昨年の11月、2024年全国私学サミット(全国私立大学附属・併設校教育研究集会)の会場校が本校に決定されました。全国から来校するお客様に本校をどのようにアピールするかが課題になります。今年度中に全教室にWi-Fi環境とプロジェクター等の機器を完備させ、今度の新入生から順次、生徒一人一台のクロームブックを持たせ、ICT機器を活用した教育を展開する予定です。全国サミットでは、本校のグローバル教育とICT教育の取組状況等についての紹介やこれに関連した授業研究、授業公開、及び生徒の「課題研究」の取組等を紹介しようと考えています。

この正月、本校卒業生の前田君が箱根駅伝の第8区(21.4km)で「東洋大学1年」出身校「東洋牛久」としてテレビに映し出され、区間6位の力走をしました。また、昨年12月、京都での全国高等学校駅伝競走大会では、本校駅伝部が「創部5年目で初出場、29位の健闘」としてテレビ・ラジオで紹介されました。茨城国民体育大会では、本校の相撲部と空手道部が共に団体5位に入賞、相撲少年個人の部で亀井颯人君が優勝、空手道少年個人の部で男女共に形と組手で2位と3位に、スポーツライミング個人の部女子リードで2位になるなどの活躍をしました。生徒や卒業生がテレビやラジオで紹介され、その活躍が称えられることはとても嬉しく、誇りに思います。

この3月の第54回卒業生を含め、本校の卒業生は27,794名となりました。2007年3月卒業の野口啓代さんが、昨年の8月、スポーツライミング世界選手権大会で準優勝して「2020年東京オリンピック代表選手」に内定した時、「『2020年オリンピック代表内定』おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。教職員・卒業生・在校生一同、今後ともご活躍をお祈りしております。」という祝電を送ったところ、野口さんから「皆さんの大きな声援がいつも私の背中を押ししてくださいました。引き続き、応援のほど、宜しくお願いします。」という返事が届きました。同窓会の皆様、学校と一体となって野口さんを応援しましょう。

今後とも本校教育にご理解とご協力、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

同窓会会則

第1章 総則

- 第1条 本会は東洋大学附属牛久中学校・高等学校同窓会と称し、事務局を東洋大学附属牛久中学校・高等学校（以下本校という）内に置く。
- 第2条 本会は会員相互の親睦連携を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 会報の発行
 - (2) 体育・文化活動等に対する助成
 - (3) その他本会の目的を達成するため必要と認められる事業

第2章 会員

- 第4条 本会の会員は本校の卒業生とし、卒業と同時に入会する。
- 第5条 前条に該当しない専任教職員で本校に3年以上勤務した者は賛助会員とする。

第3章 役員および顧問

- 第6条 本会は次の役員等を置く。
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 会長1名 | 副会長若干名 | 監事2名 | 幹事長1名 |
| 幹事若干名 | 会計1名 | 顧問若干名 | |
- 第7条 会長・副会長および監事は会員の中より総会において選出する。
- 2 会計および幹事は本校在職会員より会長が委嘱する。幹事長は幹事の中より選出する。
- 第8条 歴代会長・副会長および校長は顧問となる。
- 第9条 会長は会務を総理し、会議の議長となる。副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 第10条 監事は会計を監査し、その結果を総会において報告する。
- 2 幹事長は会長の指示を受け会務を掌り、事務局を主宰する。
- 第11条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。補充により就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。役員任期満了後、後任者就任までの間はその任務を行うものとする。

第4章 会議

- 第12条 会議は総会、本部役員会および幹事会とする。
- 2 本部役員会は会長・副会長・監事・幹事長・幹事・会計で構成する。
- 3 幹事会は幹事長および幹事によって構成し、議長は幹事長とする。
- 第13条 会議は会長がこれを招集する。
- 第14条 総会、本部役員会および幹事会の議事は出席者の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

- 第15条 総会は次の事項を審議し、議決する。
- (1) 事業計画および予算の承認
 - (2) 事業および決算報告の承認
 - (3) 本部の事業執行並びに会務の運営に関する事項
 - (4) その他、必要と認められた事項
- 2 総会は会長が開催する。但し、総会が開催できない場合は本部役員会をもって総会に代えることができる。
- 3 会員の4分の1が必要と認められたときは、臨時総会を開くことができる。
- 第16条 本部役員会および幹事会は次の事項を審議し、総会に諮るものとする。
- (1) 事業計画および予算
 - (2) 事業の執行および決算
 - (3) その他、会長が必要と認められた事項

第5章 会計

- 第17条 本会の資産は会費・寄付される財産並びに資産その他より生ずる収入によってこれにあてる。
- 第18条 本会の資産は、会長がこれを管理し、本会の経費は資産のうちから支弁する。
- 第19条 新会員は、入会の際、終身会員10,000円を納入する。
- 第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする

第6章 支部

- 第21条 本会は地域を単位とする支部を置くことができる。
- 第22条 支部は毎年1回総会を開き、支部長はこれを会長に報告する。

第7章 会則の変更

- 第23条 会則の変更は、総会の議決により定める。

附則

- 本会則は昭和57年8月15日より施行する。
- 本会則は昭和60年5月19日より施行する。
- 本会則は昭和61年9月29日より施行する。
- (付記) 同日の総会にて、総会開催が不可能な場合は本部役員会をもって総会に代えることができる、との決議が承認される。
- 本会則は平成17年8月1日より施行する。
- 本会則は平成19年6月22日より施行する。
- 本会則は平成27年12月20日より施行する。
- 本会則は平成29年2月25日より施行する。

同窓会活動

同窓会規則第1条の規定により、本会は会員相互の親睦連携を図り、母校の発展に寄与することを目的とし、目的を達成するために(1)会報の発行(2)体育・文化活動等に対する助成(3)その他本会の目的を達成するため必要な事業を行うことになっています。

同窓会では、この目的を達成するべく、変化する学校の様子や生徒の活躍の様子などを卒業生の皆様にお知らせすることが重要であると判断し、まず同窓会報を発行することとし、この号で3年続けての発行になります。また、生徒の活動に対する支援として関東大会、全国大会に出場したクラブに対してのお祝い金の授与や文化活動も含む功労賞・奨励賞の授与を行っています。卒業にあたっては、記念品として卒業証書ホルダーを卒業生に贈呈しています。

本校は平成26年度に創立50周年を迎えました。同窓会では周年記念事業に対しても、学校の発展に寄与する寄附金・記念品の贈呈を行ってきています。周年事業や教育活動・体育活動支援のための基金の準備も計画的に進めています。学校と共催で実施しているホームカミングデーも総会を併せて行うことで、さらに同窓会の活動として、認知される機会となってきました。ぜひ学校を訪れる機会ですのでご参加いただけますようお願いいたします。

卒業生数(同窓会員数)

2020年3月(第54回)の卒業生

男子287名 女子239名 計526名

2020年3月までの卒業生数累計

男子18,315名 女子9,479名

合計 27,794名



同窓会役員 (2019年4月～2021年3月)

役 職	氏 名	卒業年	卒業回
会 長	川口 勝嘉	昭和 48	7
副 会 長	小川 茂生	昭和 58	17
副 会 長	諸岡 重人	昭和 61	20
副 会 長	稲田 和人	昭和 61	20
監 事	沢田 真巳	昭和 58	17
監 事	澤田 慎一	昭和 61	20
幹 事 長	松村 豪	昭和 57	16
幹 事	高瀬 修	昭和 49	8
幹 事	飯岡 勝久	昭和 51	10
幹 事	佐々木敦子	昭和 60	19
幹 事	張貝 紀子	昭和 61	20
幹 事	朝田 香世	昭和 63	22

役 職	氏 名	卒業年	卒業回
幹 事	森山 真帆	平成 元	23
幹 事	寺田 千広	平成 7	29
幹 事	渡部久仁子	平成 7	29
幹 事	前田 貴政	平成 9	31
幹 事	根岸 芳貴	平成 18	40
幹 事	山本 紳童	平成 19	41
顧 問	小林 良雄	前会長	1
顧 問	平島 義廣	前副会長	1
顧 問	鴻丸 義次	前副会長	7
顧 問	木下 透	元副会長	5
顧 問	遠藤 隆二	校 長	-

2018年度決算・2019年度予算

2018年度 同窓会決算書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

1. 収入の部

項 目	決 算
(1) 前年度より繰越	7,754,244
(2) 利息	830
(3) 入会金	5,530,000
合 計	13,285,074

2. 支出の部

項 目	決 算
(1) 事業費	10,011,175
部活動祝金	650,000
部活動功労賞・奨励賞	90,000
卒業記念品	292,500
同好会支援	0
総会・ホームカミングデー諸経費	1,559,685
同窓会報発行・発送	2,418,990
基金特別会計への繰入	5,000,000
(2) 事務費	177,351
消耗品費	84,450
会議費	2,536
印刷費	0
手数料	6,912
卒業アルバム購入費	10,800
同窓会室備品等	72,653
(3) 予備費	0
(4) 期末未払金	- 292,500
合 計	9,896,026
次年度繰越	3,389,048

2019年度 同窓会予算書 一般会計

(2019年4月1日～2020年3月31日)

1. 収入の部

項 目	予 算
(1) 前年度より繰越	3,389,048
(2) 利息	500
(3) 入会金	5,310,000
(4) 基金特別会計より繰入	5,000,000
次年度繰越	13,699,548

2. 支出の部

項 目	予 算
(1) 事業費	10,010,000
部活動祝金	1,000,000
部活動功労賞・奨励賞	100,000
卒業記念品	310,000
同好会支援	100,000
人工芝グラウンド関連寄贈	5,000,000
同窓会報発行・発送費	2,500,000
教育活動支援費	1,000,000
(2) 事務費	281,000
消耗品費	100,000
会議費	50,000
印刷費	10,000
卒業アルバム購入費	11,000
手数料	10,000
同窓会室備品費	50,000
交通費	50,000
(3) 予備費	3,116,048
(4) 前年度未払金	292,500
合 計	13,699,548

基金特別会計

1. 収入の部

項 目	予 算
(1) 前年度繰越金	42,500,000
(2) 一般会計より繰入	0
全校応援協力基金	0
周年記念事業基金	0
教育活動支援基金	0
(3) 寄付金	0
合 計	42,500,000

2. 支出の部

項 目	予 算
(1) 一般会計へ繰入	5,000,000
(2) 次年度繰越	37,500,000
合 計	42,500,000

基金残高

全校応援協力基金	20,000,000
周年記念事業基金	10,000,000
教育活動支援基金	7,500,000

2019 年度同窓会事業計画

- 1 生徒の活動に対する支援事業
 - ・クラブ活動祝金授与
 - ・運動部・文化部等の功労賞・奨励賞の授与
 - ・同好会活動支援
 - ・教育活動支援
- 2 卒業に際しての支援事業
 - ・卒業記念品(卒業証書ホルダー)の寄贈
 - ・卒業式出席
 - ・卒業アルバム購入
 - 同窓会室にバックナンバーを収納
 - ・卒業生同窓会入会式出席、功労賞・奨励賞の授与、会則の配布
- 3 同窓会報(第5号)の発行
 - 本会を認知させることや、学校の状況をお知らせするために数年間継続する
- 4 人工芝グラウンド完成に伴う関連備品等の寄贈
 - 学校創立55周年事業として実施
- 5 学校行事に参加
 - ・入学式
 - ・創造祭(文化祭)
 - ・運動部、文化部の試合・発表会等

2018 年度同窓会クラブ活動祝金授与

県予選を突破し、関東大会以上の公式大会へ出場した、23件の団体にお祝いを授与しました。

(前期)	空手道部(男子)	空手道部(女子)	女子硬式テニス部	男子硬式テニス部	女子ソフトテニス部	相撲部
	駅伝部	陸上競技部	ラグビー部	レスリング部	軟式野球部	囲碁将棋部
(後期)	空手道部(男子)	空手道部(女子)	女子硬式テニス部	男子硬式テニス部	軟式野球部	相撲部
	駅伝部	陸上競技部	ラグビー部	レスリング部	囲碁将棋部	

2018 年度同窓会功労賞・奨励賞授与

功労賞 ラグビー部 軟式野球部

奨励賞 陸上競技・駅伝部の駅伝部門

※各部の活躍の内容については、最終ページで紹介しています。



ほぼ同じ位置(正門)から撮影した写真です

いろいろな想いのある「東洋大牛久の今」貴方はどのように感じますか?

東洋大牛久は今

特色のある5つのコースに分かれ、それぞれの志望に合った最適なカリキュラムの元、基礎から応用まで幅広い学力の定着を目指しています。

特別進学コース

発展的な学習で総合力を育成するリベラルアーツコース

○豊富な授業数で身につく確かな学力

国公立大への進学を目指す特別進学コースでは、月～木まで8時間授業を実施。英・国・数・社・理の5教科をバランスよく学習するので、確かな学力が身につきます。

○全員参加の海外研修で視野が広がる

2年生の8月に、オーストラリアのアデレードで海外語学研修を実施します。英語に対するモチベーションと意欲が高まり、帰国後のTOEIC Bridge®でも好成績を上げています。

○頻繁な模擬試験で学力向上できる

1年生から模擬試験を実施。全国レベルでの自分の実力を確認しながら、弱点を見極めます。さらに試験結果を分析し、放課後に復習に取り組むなど、模試を活用した学習を行います。

特色あるプログラム

「グローバル探究」の授業では、自己を確立し主体性を身につける「課題解決」他者を尊重し共生していくための「国際理解」みずからの考えを伝える「プレゼンテーション」能力を鍛えます。また、演習室を利用した放課後学習や補修・講習で、効率よく基礎学力を向上させます。

進学コース

基礎学力を育成するベーシックコース

○東洋大学附属推薦進学率ナンバーワン

毎朝10分を使って小テストを実施し、学力を定着させるとともに、学習習慣を身につけます。TOEIC Bridge®や外部模試の受験を重ね、スコアアップを図ります。

○学業と課外活動が両立できる

基礎学力をしっかりと身につけながら、部活動や学校行事、ボランティア活動などの体験を通して将来の進路を導き出すとともに、豊かで魅力あふれる人間性を育てます。

○豊富な選択科目から受けたい授業が選べる

3年生を対象に、豊富な選択科目を設けています。受験に向けて強化したい科目や、興味のある科目など、習熟度と希望に合わせて選択することが可能です。

特色あるプログラム

進学コースでは東洋大学への附属推薦に向けたTOEIC Bridge®のスコアアップや英検受験対策が充実。

また、他大学への進学など、一人ひとりに合った進路を探すキャリア教育が2年生から始まります。

放課後進学講習に加えて、2016年度からは始業前の0時限進学講習もスタートし、より進学を意識したプログラムが設けられています。

グローバルコース

新しい価値を見出すグローバル人材を育むコース

○独自の科目で国際力が養える

グローバル探究の一環である「教養」「課題研究」「国際理解」の教科が必修科目として組み込まれています。

日本について深く知りながら、英語で伝える技術を身につけていきます。

○英語のシャワーで自然と身につく

毎日の始業・終業のあいさつをはじめ、Lhrなどの学級活動においても90%が英語で行われます。

授業以外でも英語に接する機会が圧倒的に多いため、自然と会話が高まります。

○国内外での語学研修でパワーアップ

入学直後の宿泊学習は、海外で英会話レッスンを含めたオリエンテーションを予定。卒業までの間に英語漬けの経験ができるプログラムを豊富に用意しています。

特色あるプログラム

長文読解力を鍛える「コミュニケーション」、聞く・話す力をつける「英語会話」などの授業で英語力を高めながら、必修科目で組み込まれている「グローバル探究」と連携させて、日本人としての教養や主体的に考える力、英語運用力、国際理解力などを育成。シンポジウムやワークショップなど、学校内外で実施される英語関連の催しにも積極的に参加します。

スポーツコース

自らの専門分野にチャレンジする文武両道のコース

○文武両道の精神で学力向上がめざせる

スポーツの能力向上に加え、日頃からの授業を大切に、大学進学に向けた学力を育成。弱点克服のためのきめ細かな指導と、仲間と切磋琢磨する環境がやる気を生み出します。

○大学見学の機会も多く、好きな道に進みやすい

東洋大学をはじめ、さまざまな大学の健康スポーツ学科、スポーツマネジメント学科などスポーツに関連した学部・学科の見学会を実施することで、希望の進路に繋げていきます。

○分野を超えたスポーツマインドが体得できる

クラスの全員が運動部に所属し、全国大会での上位入賞をめざしています。競技は異なってもそれぞれの分野で秀でた仲間たちと刺激し合うことで、スポーツマインドを醸成します。

特色あるプログラム

将来、スポーツ選手として活動を続けるだけでなく、競技を引退した後の社会人や指導者としての活躍も視野に入れ、早い時期からスポーツと勉強の両立に取り組めます。

同時に、掃除やあいさつなど私生活の基本と人間関係におけるマナーをしっかり身につけながら、スポーツを通じて、目標に向かい最後までやり遂げる力と、逞しい人間力を育成します。

東洋大牛久は今

中高一貫コース

6年間を通じた学びでグローバルリーダーを育てるコース

○6年間の独自教育プログラム

希望する進路への準備として、中学校から1・2年次、3・4年次、5・6年次の3段階に分け、2年次には中学校課程、5年次には高校課程を修了する学習プログラムが特徴です。一人ひとりの希望進路を早期に見定めて学習指導し、6年次には十分な余裕を持って大学研究や受験準備を行うことができます。

○海外研修で身につく未来を拓く力

中学2年生でフィリピン、中学3年生でオーストラリアでの語学研修を実施。早い時期に海外を知ることが自己の確立や将来の学習に大きな成果をもたらします。さらに高校2年生ではシンガポールへ。培った英語力を生かし、現地高校生・大学生と交流します。

○主体性を育てるアクティブ・ラーニング

英語で議論するディベートや、各種ワークショップなどへ積極的に参加。語学力はもとより、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、発想力、対峙力などを鍛えます。また生徒自身がつけたテーマによる論文発表、タブレットによる調べ学習など、主体性を育むアクティブ・ラーニングも多彩です。



東洋大牛久の進路状況・大学合格実績

2019 (平成 31) 年卒業生進路状況

	東洋大学附属 推薦	附属推薦 以外の 4年制大学	短期大学	海外大学	その他進学他	就職	卒業生数
人数	227	213	5	0	103	5	553

2019 (平成 31) 年主な大学合格実績

茨城大学	13	早稲田大学	5	成蹊大学	4
千葉大学	1	上智大学	1	成城大学	6
東京学芸大学	1	東京理科大学	4	武蔵大学	10
茨城県立医療大学	1	明治大学	7	独協大学	6
北見工業大学	1	立教大学	4	東京農業大学	4
釧路公立大学	2	中央大学	9	東京電機大学	1
茨城県立医療大学	1	法政大学	7	芝浦工業大学	2
公立鳥取環境大学	2	学習院大学	4	立命館大学	1
		日本大学	18	関西学院大学	1
		駒沢大学	4		
		専修大学	2		

東洋大牛久は今

部活動の状況

令和元年度インターハイ(全国高等学校総合体育大会)出場・関東大会出場等

硬式テニス部(男子)	ダブルス県大会優勝・2位	シングルス2位・3位	→インターハイ出場				
硬式テニス部(女子)	団体県優勝※5年連続	ダブルス県優勝	ダブルス2位	→インターハイ出場			
ソフトテニス部(女子)	団体県優勝	個人ペア優勝・4位・6位	→インターハイ出場				
空手道部(男子)	団体組手県優勝	個人組手県優勝・2位	個人形優勝	→インターハイ出場	個人組手5位		
空手道部(女子)	団体組手県優勝	個人組手県優勝・3位	個人形優勝・2位	→インターハイ出場			
陸上競技・駅伝部	男子5000m	県優勝	→関東大会出場	8位	男子4×100mR	県2位	→関東大会出場
	男子400m	県4位	→関東大会出場	7位	女子100mH	県4位	→関東大会出場
	女子200m	県6位	→関東大会出場		女子800m	県4位	→関東大会出場
	女子4×400mR	県5位	→関東大会出場				
軟式野球部	春季県大会優勝	→関東大会出場	3位				
相撲部	団体県優勝	→関東大会出場	3位	個人重量級	→関東大会出場優勝		
	→インターハイ出場			→インターハイ出場			
	個人無差別級	→関東大会出場	5位				
	→インターハイ出場						
囲碁将棋部	個人県優勝	→全国高校囲碁選手権全国大会	出場		全国高等学校総合文化祭囲碁部門	出場	

茨城国体 相撲競技 少年男子個人戦で本校3年亀井颯人君が優勝

令和元年9月に地元茨城、土浦で行われた国体で個人戦で優勝という快挙を成し遂げました。

体重100kgという小兵ですが研ぎ澄まされた集中力で終始安定した相撲で強敵を次々と撃破しました。高校生の代表として12月に行われた相撲の大会の最高峰である全日本相撲選手権大会へも出場しました。



茨城県高等学校駅伝競走大会で駅伝部が初優勝 全国高校駅伝に初出場

令和元年10月に行われた県大会で創部5年目の駅伝部が10連覇中の水城高校に勝利し、初優勝。12月の京都都大路を初めて走りました。しかし全国の壁は厚く29位と厳しいものでありましたが、今後が楽しみです。その後の箱根駅伝で卒業生の東洋大学1年前田義弘君が箱根駅伝8区を6位で走りました。



空から見た東洋大牛久

